

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 7 月 10 日

評価対象事業	都政	-	02	都市計画運営事務				☐ 法定受託事務
所管課	都市政策部 都市計画課				評価者	都市計画課担当課長 佐藤 純一		
一般	会計	款	45	項	20	目	5	
総合計画上の位置付け	分野名	市街地整備			施策の方針名	市街地整備の推進		

1 事業の目的

対象	市全域の土地利用・まちなみ	意図	都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。
効果	まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」（鎌倉市都市マスタープランより）を目指す。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 （事業終了予定年度： 年度） ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	都市計画審議会の運営、都市計画図等の発行、都市計画関連データ等の情報管理	都市計画審議会の運営、都市計画図等の発行、都市計画関連データ等の情報管理、都市マスタープランの改定等、3D都市モデルの整備等	都市計画審議会の運営、都市計画図等の発行、都市計画関連データ等の情報管理、都市マスタープランの改定等
予算額（千円）	6,641	40,227	
国県支出金		26,564	
地方債			
その他	300	303	
一般財源	6,341	13,360	0
当初人員配置数	6.6	6.5	0.0
人件費（千円）	49,188	50,029	0
事業実績	都市計画審議会の運営、都市計画図等の発行、都市計画関連データ等の情報管理		
決算額（千円）	6,264		
国県支出金			
地方債			
その他	76		
一般財源	6,188	0	0
人員配置実績数	5.4	0.0	0.0
人件費（千円）	37,826	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標 ⇒ 指標設定なし（都市マスタープラン改定時に再検討）

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名					（上段実績、下段経費（千円））		
活1	実績につながる活動							

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	令和9年度に改定する都市マスタープランにおいて設定するプランの指標と整合させるため、現時点では事業の成果指標を設定しない。成果指標が未設定であるため、どういった活動結果を踏まえて成果を測ることとするのか妥当性を持った結果指標を設定する必要があることから成果指標設定時に結果指標を併せて設定することとし、現時点では結果指標を設定しない。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標 ⇒ 指標設定なし（都市マスタープラン改定時に再検討）

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1								

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	令和9年度に改定する都市マスタープランにおいて設定するプランの指標と整合させるため、現時点では事業の成果指標を設定しない。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	現時点では活動結果指標及び成果指標を設定しないため、比較分析は行わない。

5 評価結果

評価	妥当性	事業に対するニーズ	☐ 増えている	☒ 変わらない	☐ 減少している
		事業実施の主体となるべき者	☒ 市	☐ 国・県	☐ 民間事業者 ☐ なし
	有効性	事業の成果	☒ 十分に出ている	☐ 概ね出ている	☐ 出ていない
	効率性	事業費削減余地	☐ ある	☒ なし	
		関連・類似事業との統合	☐ できる	☒ できない	
方向性	公平性	受益者負担	☐ 導入済	☐ 導入予定	☒ 導入できない
		評価実施年度の方向性 ⇒ 評価実施翌年度以降の方向性			
	事業内容の方向性	☒ 事業内容は現状通り ☐ 事業内容は見直し済 ☐ 事業を休止又は廃止済 ☐ 他事業と統合済	⇒	☒ ① 事業内容は現状通りとする ☐ ② 事業内容は見直す → ☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他 ☐ ③ 事業は休止又は廃止する ☐ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する → 事業へ統合	
方向性	予算規模の方向性	☒ 予算規模は現状維持 ☐ 予算規模は拡大済 ☐ 予算規模を縮小済	⇒	☒ ① 予算規模は現状維持とする ☐ ② 予算規模は拡大する ☐ ③ 予算規模は縮小する	

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応	結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果	前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		活動結果指標及び成果指標の再検討時に検討	
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		活動結果指標及び成果指標の再検討時に検討	
	総評	都市計画に関する事項の調査・審議のための都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定・変更等の手続を行うことで、これまで同様に本市の都市計画及び都市マスタープランに沿ったまちづくりを進めてきた。令和8年度においては、これまでの定例的な業務に加え、都市マスタープランの改定等と3D都市モデルの整備等に取り組む予定である。		上位施策への寄与度 B

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方		都市計画の推進においては、市により都市計画の目標、目指す都市像及びまちづくりの方向性・重きを置く視点等が異なり、他市比較をすることはなじまない。							